

平成20年度動物由来感染症サーベイランス結果報告

大阪府では、動物由来感染症の発生を防止し、又はまん延を防止するため、環境農林水産部と健康福祉部が一体となって動物由来感染症の積極的な検査(サーベイランス)を実施しています。検査の結果は、下記のとおりです。

平成21年3月31日現在

感 染 症 名	対象動物	検体	平成20年度合計		
			検体数	陽性	陰性
結 核	牛		1703頭		1703頭
腸 管 出 血 性 大 腸 菌	牛・めん山羊	糞便(農家)	485頭	9頭 ※1	476頭
	牛	枝肉 (食肉処理場)	410検体		410検体
ウエストナイルウイルス 感 染 症	蚊	蚊(馬飼育施設)	826匹		826匹
		蚊(保健所)	2946匹		2946匹
	野鳥	脳	8羽		8羽
ジ ア ル ジ ア 症	アライグマ	糞便	54頭		54頭
高病原性鳥インフルエンザ	鶏・アヒル	気管・クロアカスワブ	1593羽		1593羽
		血清	1667羽		1667羽
	野鳥	気管・クロアカスワブ	53羽		53羽
	野鳥(渡り鳥)	糞便	500検体		500検体
	豚	鼻腔スワブ	170頭		170頭
肺		2頭		2頭	
デ ン グ 熱	蚊		2946匹		2946匹
日 本 脳 炎	豚	血清	152頭	3頭 ※2	149頭
	蚊		2946匹		2946匹
ブ ル セ ラ 症	牛	血清	210頭		210頭
つ つ が 虫 病	野ネズミ	ツツガムシ			
レ プ ト ス ピ ラ 症	アライグマ	尿	139頭	15頭 ※3	124頭
E 型 肝 炎	イノシシ	血液	22頭		22頭
エ キ ノ コ ッ ク ス 症	犬	糞便	42頭		42頭
ク リ プ ト ス ポ リ ジ ウ ム	牛	糞便	130頭		130頭
	アライグマ	糞便	54頭		54頭
B S E	牛	延髄 (食肉処理場)	25904頭		25904頭
		延髄(死亡牛)	80頭		80頭
ト キ ソ プ ラ ズ マ 症	豚	血清	218頭	16頭 ※4	202頭
ア ラ イ グ マ 回 虫 症	アライグマ	糞便	21頭		21頭
フ ィ ラ リ ア 症	イノシシ	皮膚	45頭	18頭 ※5	27頭

※1 0-157陽性農場に対しては、生菌製剤の投与や畜舎の消毒などの衛生対策指導が実施されており、陰性が確認されるまで定期的に検査・指導を実施します。

※2 日本脳炎については平成17、18年度には確認されませんでした。昨年度と今年度は抗体の保有が確認されました。日本脳炎ウイルスへの感染対策としては、蚊の季節における防蚊対策が有効です。

※3 レプトスピラ症陽性については、特に過敏になる必要はありませんが、一般的な感染症予防の観点からも野生動物と接する際には素手で触れず、また取り扱った後は手指を十分に洗浄、消毒して下さい。

※4 トキソプラズマ症抗体陽性については、臨床症状はなく異常はありませんが、養豚農家へより一層の衛生対策の指導を実施しています。

※5 野生動物の肉からは直接人には感染しません。(ブユを介して感染幼虫が人に入ります。)